

NEC Expressサーバ
Express5800/BladeServerシリーズ

N8400-020/021/022/025/026/027
Express5800/120Ba-4

ユーザーズガイド

2006年 1月 第6版

商標について

EXPRESSBUILDERとESMPRO、SystemGlobe、CLUSTERPROおよびDianaScopeは日本電気株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、Xeon、Pentium、Celeronは米国Intel Corporationの登録商標です。Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における商標または登録商標です。Red Hatは、米国Red Hat, Inc.の登録商標です。ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。DatalightはDatalight, Inc.の登録商標です。ROM-DOSはDatalight, Inc.の商標です。Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の登録商標または商標です。Adaptecとそのロゴは米国Adaptec, Inc.の登録商標です。MIRACLE LINUXの名称およびロゴは、ミラクル・リナックス株式会社が使用権許諾を受けている登録商標です。DLTとDLTtapeは米国Quantum Corporationの商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows Server 2003はMicrosoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition operating systemの略です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略称です。Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 - 必ずお読みください -

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには装置のどこが危険で、どのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズガイドおよび警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告







人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。





注意

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	 (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)



注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	指定以外のコンセントに差し込まない 電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	 注意

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		回転物によるけがのおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	-------------------	---	--------------------------------------

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

警告



人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



リチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーを取り外さない

CPUブレードにはリチウムバッテリーが取り付けられています(オプションデバイスの中にはリチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーを搭載したものもあります)。バッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



煙や異臭、異音が生じたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちにすべてのCPUブレードの電源をOFFにした後、ブレード収納ユニットの電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



針金や金属片を差し込まない

装置に金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



指定以外の場所で使用しない

CPUブレードやハードディスクドライブなどのデバイスは、専用の「ブレード収納ユニット」に搭載して使用します。ブレード収納ユニット以外の筐体(ケース)に取り付けて使用しないでください。火災や感電の原因となります。



腐食性ガスの発生する環境で使用しない

腐食性ガス(塩化ナトリウムや二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の発生する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこり中に腐食を促進する成分(硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。

もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店や保守サービス会社にご相談ください。

**CPUブレードを取り付けたまま取り扱わない**

CPUブレードへのオプションの取り付け/取り外しは、CPUブレードの電源をOFFにして、CPUブレードをブレード収納ユニットから抜いて行ってください。ブレード収納ユニットに接続したままCPUブレードの部品に触ると感電するおそれがあります。

**複数のCPUブレードを同時に取り付け/取り外ししない**

CPUブレードの取り付け/取り外しは、1枚単位で行ってください。複数のCPUブレードを同時に取り付け/取り外しをしたり、別のスロットのカバーを取り外したまま取り付け/取り外しをすると感電するおそれがあります。

⚠ 注意



海外で使えない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。



装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。



中途半端に取り付けない

インタフェースケーブルやCPUブレード、ハードディスクドライブ、オプションボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



指定以外のインタフェースケーブルを使えない

インタフェースケーブルは、NECが指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。



巻き込み注意

本装置の動作中は前面および背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。また異物を差し込まないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、けがの原因となることがあります。



高温注意

CPUブレード上の部品やブレード収納ユニット内の部品が高温になっていることがあります。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。また、電源ファンから排出される排気は高温になっています。排気口付近に顔や手を近づけないようにしてください。



雷が鳴ったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入ると火災や感電の原因となります。



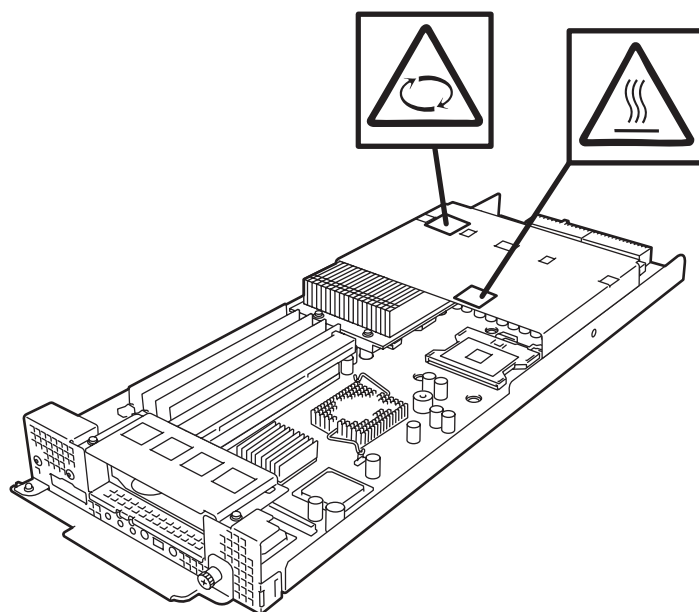
近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない

本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

警告ラベルについて

装置の設置や取り扱い、デバイスの増設の際に、危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本製品の取り扱いの際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルがはがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。

警告ラベル中の記号の意味については、巻頭の「安全に関わる表示について」を参照してください。



取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために -

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると装置の誤動作や故障の原因となります。



保守サービスについて

本製品の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

本製品をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

● CPUブレード

- N8400-020/021/022/025/026/027のCPUブレードは、N8405-005のブレード収納ユニットに取り付けることはできません(N8405-013もしくはN8405-005Aのブレード収納ユニットに取り付けてください)。
- N8400-026のCPUブレードは、動作保証する環境温度上限が「30℃」までですので、環境温度にご注意ください。
- 取り付け/取り外しは、1枚単位で行ってください。
- 取り付け/取り外しの際は、板金で覆われている部分を持ってください。ボード上の電子部品やヒートシンクなどを持たないでください。また、運搬の際は、購入時に入っていた袋に入れ、梱包箱に入れてから持ち運んでください。
- CPUブレードは大変静電気に弱い電子部品です。装置の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてからCPUブレードを取り扱ってください。また、CPUブレードの端子部分や部品を素手で触ったり、CPUブレードを直接机の上に置いたりしないでください。
- 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。

☐ 装置の輸送後

☐ 装置の保管後

☐ 装置の動作を保証する環境条件(温度：10℃～35℃(ただし、N8400-026は10℃～30℃)・湿度：20%～80%)から外れた条件下で休止状態にした後

システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ(NTPサーバ)などを利用して運用することをお勧めします。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。

- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。

装置を保管する場合は、保管環境条件(温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%)を守って保管してください(ただし、結露しないこと)。

- CPUブレードの電源OFFは、CPUブレードを正しくシャットダウンしてから行ってください。
- CPUブレードの電源ON操作は、POWERスイッチやリモートパワーオンのいずれの場合においても、全電源ユニットにAC電源が供給された後、15秒以上経過してからにしてください。また、15秒以内に電源ON操作をした場合は、電源がONにならない場合があります。全電源ユニットのAC電源が供給されていることを確認した後、POWERスイッチを使って電源をONにしてください。
- CPUブレードの電源を一度OFFにした後、再びONにするときは30秒以上経過してからにしてください。
- CPUブレードは、CPUブレードの電源をOFFにしてから取り外してください。
- CPUブレードは、急激な温度変化に弱い精密部品を使用しています。装置の移動後や保管後、再び運用する場合は、動作環境になじませてからお使いください。
- オプションは購入したブレードサーバのオプション対象品であることを確認してください。たとえばCPUブレードに取り付け/接続できても正常に動作しないばかりか、CPUブレードが故障することがあります。

● ハードディスクドライブ

- ハードディスクドライブは大変静電気に弱い電子部品です。装置の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてからハードディスクドライブを取り扱ってください。また、ハードディスクドライブの端子部分や部品を素手で触ったり、ハードディスクドライブを直接机の上に置いたりしないでください。
- ハードディスクドライブに振動や衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ハードディスクドライブは購入したブレードサーバのオプション対象品を使用してください。
- ハードディスクドライブを取り付けるスロットを確認してください。各CPUブレードに接続されるハードディスクドライブのスロットはあらかじめ決められています。
- ハードディスクドライブは、急激な温度変化に弱い精密部品を使用しています。装置の移動後や保管後、再び運用する場合は、動作環境になじませてからお使いください。

● オプションのメモリやプロセッサ、拡張用オプションスロットカード、ボードおよびその他電子部品

- これらの製品は大変静電気に弱い電子部品です。装置の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてから製品を取り扱ってください。また、製品の端子部分や部品を素手で触ったり、製品を直接机の上に置いたりしないでください。
- オプションは購入したブレードサーバのオプション対象品であることを確認してください。たとえば装置に取り付け/接続できても正常に動作しないばかりか、装置本体が故障することがあります。
- 内蔵型のオプション機器は、急激な温度変化に弱い精密部品を使用しています。装置の移動後や保管後、再び運用する場合は、動作環境になじませてからお使いください。
- オプションはNECの純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクドライブには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。

健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体の各部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい作業姿勢で

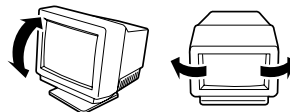
コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体のどの部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。

『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



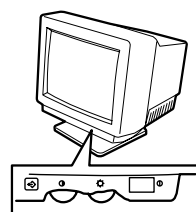
ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



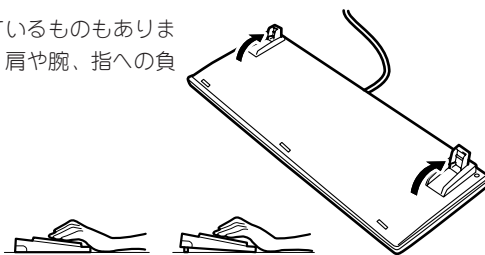
画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ(ブライトネス)・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



キーボードの角度を調節する

キーボードには、角度を変えることができるよう設計されているものもあります。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



はじめに

このたびは、NECのExpress5800/BladeServerシリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、最新のマイクロプロセッサ「Intel® Xeon® Processor」を搭載した高性能・高密度サーバです。NECの最新テクノロジーとアーキテクチャにより従来のサーバでは実現できなかった省スペース化、運用コストの低減化を図りました。

「高信頼性」はもちろんのこと、「拡張性」を考慮して設計され、ネットワークサーバとして幅広くご利用いただけることでしょう。

本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について




本書は、本製品を正しくセットアップし、安全に使用できるようにするための手引きです。製品のセットアップを行うときや製品の取り扱いがわからないときなどにご利用ください。

本書は常に製品のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windowsなどのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の購入について

製本されたユーザズガイドを購入する場合は、もよりの販売店またはお買い求めの販売店に以下の型名でお申し込みください。

品名: UL9020-00K

また、ユーザズガイドおよび添付のCD-ROMに収められているオンラインドキュメントの一部は、Express5800シリーズのホームページからダウンロードすることができます。

URL: <http://nec8.com/>

本書の構成について

本書は4つの編から構成されています。それぞれの編では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本装置を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

第1編 導入編 本製品を導入するにあたり知っておいていただきたい情報とお使いになられるまでのセットアップの手順について説明しています。ここで説明する内容や手順を守って正しく本製品をお使いになるシステム環境へ導入してください。

第2編 ハードウェア編 本製品のハードウェアに関する説明をしています。各部の名称やその機能、オプションの増設方法、本製品にふさわしい設置場所について知りたいときに参照してください。

第3編 ソフトウェア編 本製品に添付のソフトウェアについてその機能や使用方法について説明しています。ここで説明する内容に従って正しくお使いください。

第4編 運用・保守編 本製品を運用する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな？」と思ったときは、装置の故障を疑う前に参照してください。

付属品の確認

製品が入ったの梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成品表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、製品が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMは、紙封筒に包装されています。パッケージの構成につきましては、紙封筒内にある「EXPRESSBUILDER」CD-ROMの構成品表を参照してください。また、「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを紛失し、再購入を希望されるときは、販売店へご相談ください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMは使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

第三者への譲渡について

製品または添付品を第三者に譲渡(または売却)するときは、次の注意を守ってください。

● 本体について

本体を第三者へ譲渡(または売却)する場合には、添付の説明書や本書が格納されたCD-ROMを一緒にお渡しください。



ハードディスクドライブ内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクドライブに保存されている大切なデータ(例えば顧客情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することのないように確実に処分してください。

WindowsやLinuxなどのオペレーティングシステムの「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクドライブに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡(または売却)し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

● 添付のソフトウェアについて

本装置に添付のソフトウェアを第三者に譲渡(売却)する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

消耗品・装置の廃棄について

- CPUブレード、およびハードディスクドライブ、フロッピーディスク、CD-ROMやオプションのブレード収納ユニットやボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



- 本体のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
- ハードディスクドライブやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RWなど)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

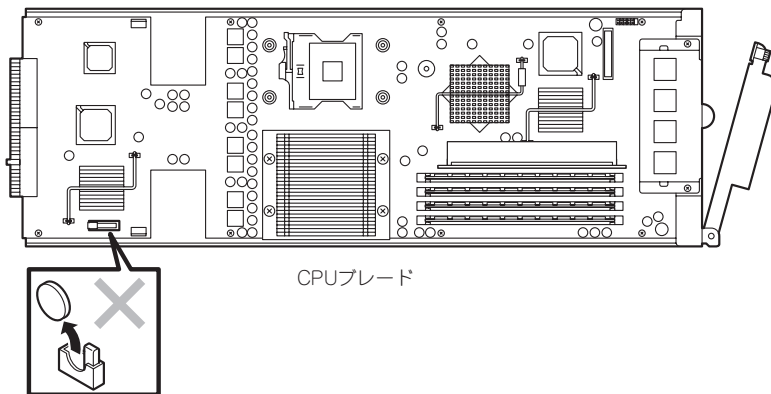
- 製品を構成する部品の中で、消耗による不具合や交換が必要な場合は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。



リチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています(オプションデバイスの中にはリチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーを搭載したものもあります)。バッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

その他、オプションボードに搭載されているバッテリーの位置についてはオプションボードに添付の説明書を参照してください。



目次

⚠ 使用上のご注意 - 必ずお読みください -	iii
安全にかかわる表示について	iii
本書および警告ラベルで使用する記号とその内容	iv
安全上のご注意	v
警告ラベルについて	viii
取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために -	ix
はじめに	xii
本書について	xii
本文中の記号について	xii
本書の購入について	xiii
本書の構成について	xiii
付属品の確認	xiv
第三者への譲渡について	xv
消耗品・装置の廃棄について	xvi

1 導入編

概要	3
ブレードサーバとは	4
サーバ管理について	5
サーバ管理	5
電源監視について	6
ストレージ管理(ディスク管理)	7
無停電電源装置管理	7
ネットワーク管理	8
導入にあたって	9
システム構築のポイント	9
システムの構築・運用にあたっての留意点	10
出荷時の状態を確認しましょう	10
セットアップの手順を確認しましょう	10
各運用管理機能を利用するにあたって	12
お客様登録	14
セットアップを始める前に	15
ハードウェアのセットアップ	15
システムのセットアップ	16
カスタムインストールモデルのセットアップ	17
セットアップをはじめる前に - 購入時の状態について -	17
セットアップの手順	18
オペレーティングシステムのセットアップ	18
デバイスドライバ(本体標準装備)のセットアップ	22
アダプタフォルトトレランス(AFT)/	
アダプティブロードバランシング(ALB)のセットアップ	29
障害処理のためのセットアップ	32

管理ユーティリティのインストール	41
システムのアップデート - サービスパックの適用 -	42
システム情報のバックアップ	44
ディスクレスモデルのセットアップおよび再セットアップ	45
SystemGlobe DeploymentManager Liteを使ったセットアップ	45
ローカルインストール	46
注意事項	46
セットアップの手順(Windows)	50
インストール後の作業	62
再インストール(Linux)	63
注意事項	63
セットアップの手順(Linux)	63
管理用リモートデスクトップについて	64
Windows Server 2003 x64 Editionsの場合	64
Windows Server 2003の場合	64
ターミナルサービスについて	65
Windows 2000の場合	65
CPUブレード側へのターミナルサービスのインストール	65
ターミナルサービスクライアント	67
HostRAID™について	70
HostRAIDの概要	70
仕様概要	70
特徴	70
注意事項	71
HostRAIDセットアップの流れ	72
ハードディスクドライブの移行(マイグレーション)	73
FibreChannelコントローラ(N8403-015)ご使用時の注意事項	74
Windows Server 2003 x64 Editionsの場合	74
Windows Server 2003の場合	74
Windows Server x64 Editionsの場合	74

2 ハードウェア 編

各部の名称と機能	76
CPUブレード	76
CPUブレード本体	76
CPUブレードアクセス面	77
ハードディスクドライブ	78
ランプ表示	79
CPUブレード	79
ハードディスクドライブ	81
ハードウェアのセットアップ	82
CPUブレードの取り付けの前に	82
MACアドレスの確認	82
メモリの取り付け	83
CPUブレードの取り付け	83
ハードディスクドライブの取り付け	83
接 続	84

基本的な操作	88
電源のON	88
CPUブレードからの電源ON	89
ブレード収納ユニットからの電源ON	90
ネットワーク・シリアルポートからの電源ON	90
電源ON後の動作	90
POSTのチェック	91
POSTの流れ	91
POSTのエラーメッセージ	92
電源のOFF	93
デバイスの確認	94
内蔵オプションの取り付け	95
安全上の注意	95
静電気対策について	96
取り付け前の準備	96
プロセッサ (CPU)	97
DIMM	102
拡張用オプションスロットカード	105
ハードディスクドライブ	110
システムBIOS - SETUP -	115
起 動	116
キーと画面の説明	117
設定例	118
パラメータと説明	121
Main	121
Advanced	123
Security	129
Server	131
Boot	137
Exit	138
SCSIBIOS - SCSI Select/HostRAID -	140
RAIDについて	140
「SCSI Select」ユーティリティの使用	141
起動と終了	141
Configure/View SCSI Controller Settings	143
RAIDコンフィグレーション	148
SCSIハードディスクドライブのRAID構築	148
ハードディスクドライブの取り付け	148
SCSI Select Utilityを使用したRAIDの有効化	149
メインメニューの表示	151
SCSI Selectの終了	154
SCSI Select Utilityを使用したRAIDの構築	154
リセットとクリア	163
リセット	163
ソフトウェアリセット	163
ハードウェアリセット	163
強制電源OFF	164
CMOSのクリア	164
割り込みライン	166

3 ソフトウェア 編

添付のCD-ROMについて	168
EXPRESSBUILDER	169
起動メニューについて	169
EXPRESSBUILDER トップメニュー	171
起 動	171
ツールメニュー	172
コンソールレスメニュー	175
起動方法	175
ツールメニュー	176
マスターコントロールメニュー	177
Express本体用バンドルソフトウェア	178
Adaptec Storage Manager™	178
カスタムインストールモデルでのセットアップ	178
SystemGlobe DeploymentManager Liteを使ったセットアップ	179
手動インストール(新規インストール)	179
ESMPRO/ServerAgent	180
SystemGlobe DeploymentManager Liteを使ったインストール	180
「EXPRESSBUILDER」CD-ROMからのインストール	181
注意事項	182
エクスプレス通報サービス	184
カスタムインストールモデルでのセットアップ	184
手動インストール(新規インストール)	185
管理PC用バンドルソフトウェア	186
SystemGlobe DeploymentManager Lite	186
SystemGlobe DeploymentManager Liteのインストール	186
SystemGlobe DeploymentManager Liteの機能	187
DeploymentManager (製品版) との機能差分	188
ESMPRO/ServerManager	189
DianaScope	189
ディスクアレイソフトウェア	190
本体標準装備	190
Adaptec Storage Manager™(ASM)	190

4 運用・保守 編

日常の保守	192
アラートの確認	192
ステータスランプの確認	192
バックアップ	193
クリーニング	194
システム診断	195
システム診断の内容	195
システム診断の起動と終了	196
障害時の対処	199
障害箇所の切り分け	199
エラーメッセージ	200
POST中のエラーメッセージ	200

ランブによるエラーメッセージ	205
Windows Server 2003/Windows 2000のエラーメッセージ	205
サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ	206
トラブルシューティング	207
ブレードサーバについて	207
「EXPRESSBUILDER」CD-ROMについて	217
マスターコントロールメニューについて	218
ディスクアレイについて	219
ESMPROについて	219
その他のバンドルソフトウェアについて	219
障害情報の採取	220
イベントログの採取	220
構成情報の採取	221
ワトソン博士の診断情報の採取	221
メモリダンプの採取	222
IPMI情報のバックアップ	223
システムの修復	224
修復手順(Windows Server 2003 x64 Editions)	224
修復手順(Windows Server 2003)	224
修復手順(Windows 2000)	224
オフライン保守ユーティリティ	229
オフライン保守ユーティリティの起動方法	229
オフライン保守ユーティリティの機能	230
システムマネージメント	231
起動方法	231
「EXPRESSBUILDER」CD-ROMからの起動	231
フロッピーディスクからの起動	231
機 能	231
移動と保管	232
ユーザーサポート	233
保証について	233
修理に出される前に	233
修理に出される時は	234
補修用部品について	234
保守サービスについて	235
ハードウェアメンテナンスサービス	235
ソフトウェア保守サービス	236
オプションサービス	236
情報サービスについて	238
付録A 仕 様	239
付録B 保守サービス会社網一覧	240
索 引	245

オンラインドキュメントについて

添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMには次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じてEXPRESSBUILDERのマスターコントロールメニュー（177ページ）から参照してください。

- ユーザーズガイド（本書）
- Adaptec Storage Manager™ユーザーズガイド
- ESMPRO/ServerAgentインストールガイド
- ESMPRO/ServerManagerインストールガイド
- エクスプレス通報サービスインストールガイド
- DianaScopeオンラインドキュメント
- Express5800 SCSI HostRAIDのマイグレーション実施時の手順について(Windows)
- 19インチラックユーザーズガイド